

令和6年度ガバメントピッチの取組

令和6年7月

関東経済産業局 ヘルスケア産業室

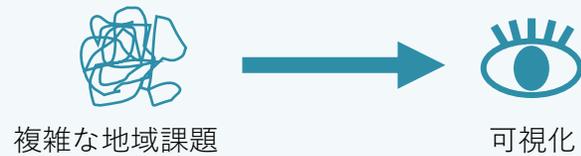
- 1 ガバメントピッチとは
- 2 R6ガバメントピッチの特徴
- 3 スケジュール
- 4 お申込み

- 1 ガバメントピッチとは
- 2 R6ガバメントピッチの特徴
- 3 スケジュール
- 4 お申込み

ガバメントピッチ概要（自治体×ヘルスケア企業 共創型官民連携創出の取組）

- 自治体が地域課題を整理・深掘りし、全国のヘルスケア企業に向けて発信。
- 全国の斬新な技術を持つ企業から、実効的な課題解決策の提案を受けて自治体と企業の共創型の官民連携を創出。

STEP1 課題の可視化



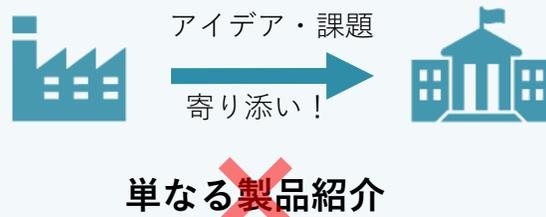
実現したい未来から課題を特定！

STEP2 課題の発信（ピッチ）



わかりやすく、熱意を持って課題を発信！

STEP3 解決方法の提案



製品紹介ではなく、解決に向けた提案！

STEP4 マッチング・実証協議



共創のマインドで連携！

コンセプトは「共創」

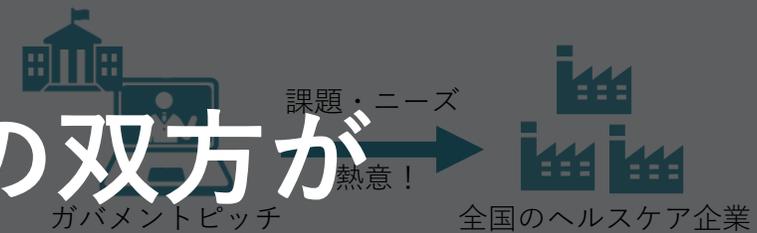
ガバメントピッチ概要（自治体×ヘルスケア企業 共創型官民連携創出の取組）

- 自治体が地域課題を整理・深掘りし、全国のヘルスケア企業に向けて発信。
- 全国の斬新な技術を持つ企業から、実効的な課題解決策の提案を受けて自治体と企業の共創型の官民連携を創出。

STEP1 課題の可視化



STEP2 課題の発信（ピッチ）



自治体・企業の双方が
互いの不足を補うことでメリットを享受

STEP3 解決方法の提案



単なる製品紹介

製品紹介ではなく、解決に向けた提案！

STEP4 マッチング・実証協議



共創のマインドで連携！

コンセプトは「共創」

ガバメントピッチのメリット 自治体

- 過去にガバメントピッチに登壇した自治体に聞く主なメリットは以下のとおりです。



課題の明確化

課題を伝える課程で、日頃感じていた課題を明確化できる。



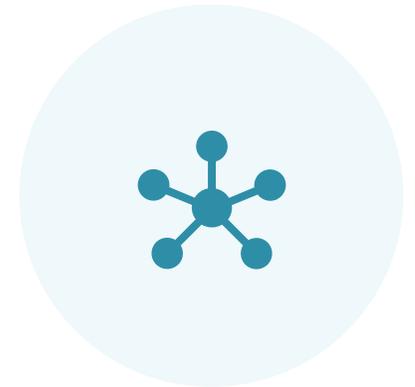
柔軟な発想

自治体には無い、企業の柔軟な発想を取り入れられる。



新たな気付き

企業との対話の中で、企業が感じる課題感等、新たな気付きを得られる。



企業との接点

域内外の多くの企業と接点を持つことができる。

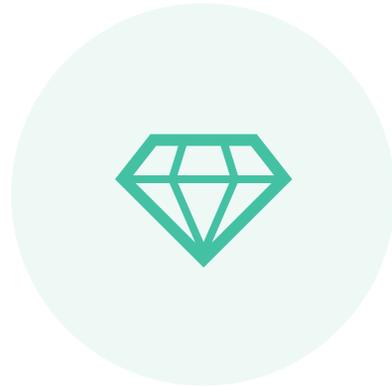
ガバメントピッチのメリット 企業

- 過去にガバメントピッチに参加した企業に聞く主なメリットは以下のとおりです。



ニーズを把握

自治体のニーズ（≒市場ニーズ）を直接聞くことができる。



製品の磨き上げ

実証により、製品・サービスに市場ニーズを反映できる。



ユーザー数の拡大

自治体の持つ信用力、住民とのつながりを活かしてユーザー数が拡大。

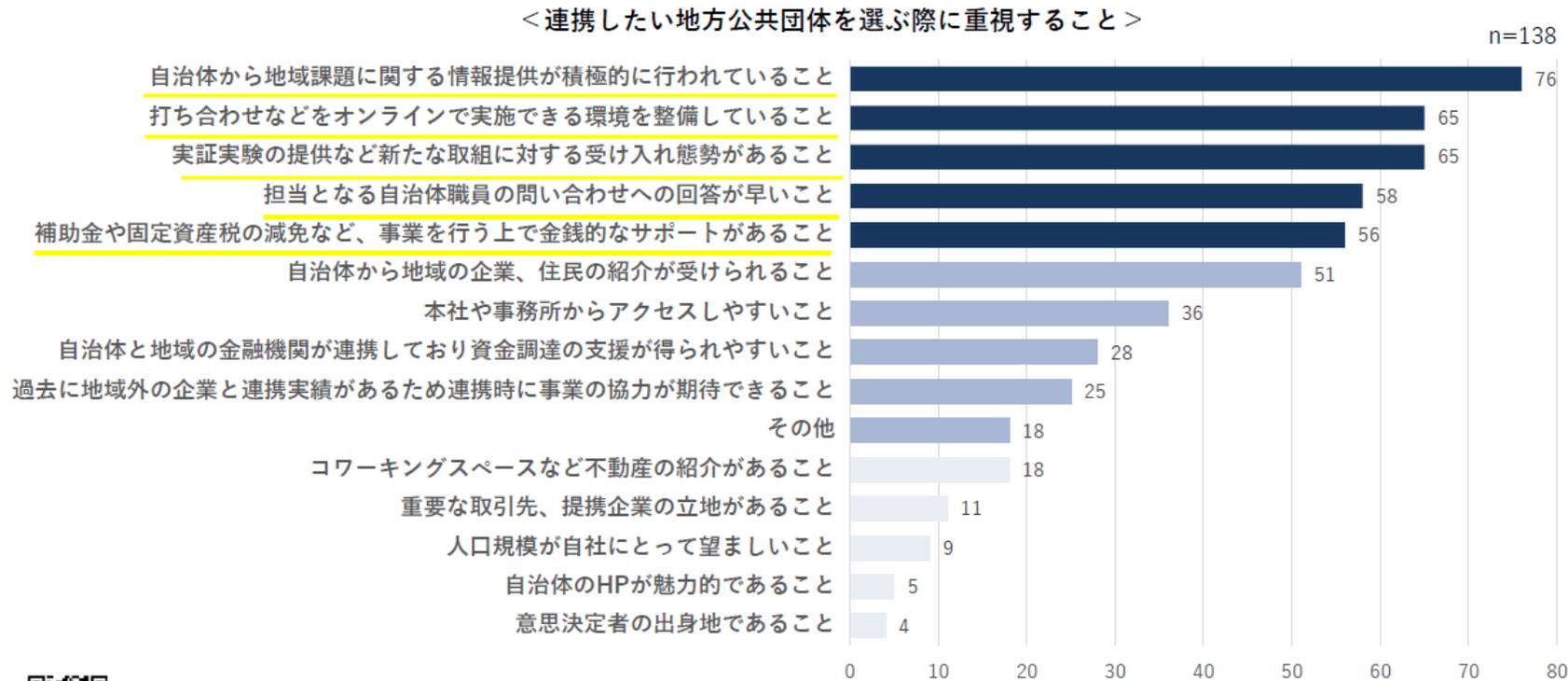


地域とのつながり

地域の様々なプレイヤーとのリレーション構築に繋がる。

民間事業者の視点 (連携したい地方公共団体)

- 民間事業者とのマッチングに向けて、地方公共団体は民間事業者の視点を理解することが重要である。
- 経済産業省中国経済産業局が実施したアンケートによると、企業が連携する地方公共団体を選ぶ際に重視するポイントは、「本社からのアクセス」、「取引先に近い」、「金銭的なサポート」など立地や金銭的な優位点よりも、「地域課題に関する情報提供」、「新たな取組への受け入れ態勢」、「オンライン打ち合わせ可能」、「担当職員の対応の早さ」などのソフト面でのサポートを望んでいることがわかる。

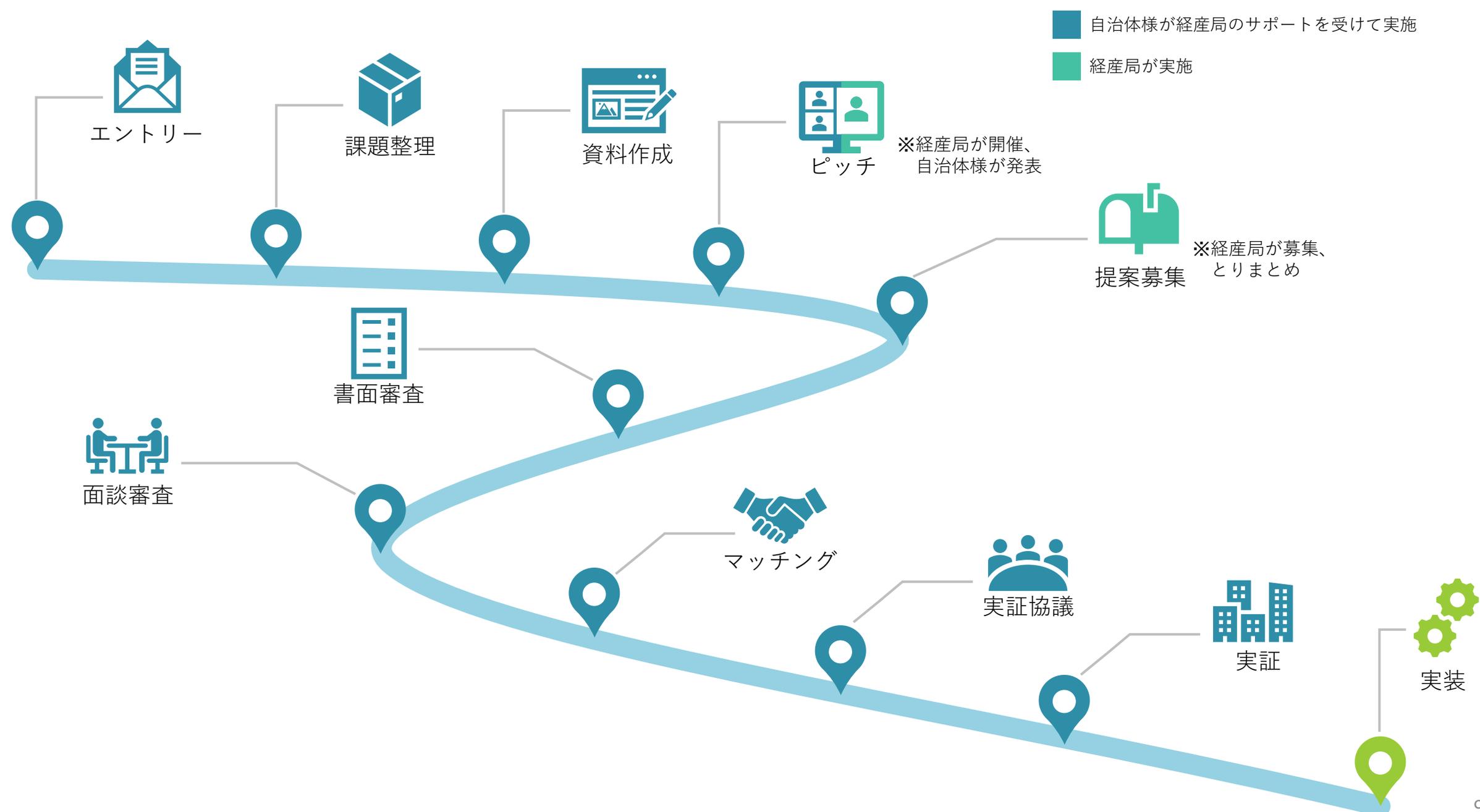


(出所) [「令和2年度地域内プレイヤーと地域外の企業による地域課題共有型解決モデル調査事業～地域のあしたのために～」](#)
(経済産業省中国経済産業局) を加工

CONTENTS

- 1 ガバメントピッチとは
- 2 R6ガバメントピッチの特徴**
- 3 スケジュール
- 4 お申込み

ガバメントピッチの全体像



こんなお悩みはありませんか

ガバメントピッチに関心はあるけど・・・



課題の整理をどうやるかわからない



企業に響く資料ってどんなのだろう



企業のことをよく知らない

自治体の皆様のお悩みを徹底サポート

- 官民連携に取り組まれる自治体職員の皆様が効率的、効果的に官民連携に取り組めるよう、サポートします。

Point 1 ガイドライン



時間の短縮

取組内容の明確化、参考様式の活用により作業時間を短縮。

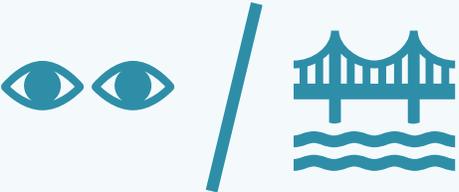
Point 2 知る場の提供



取組方がわかる

課題深掘りワークショップや勉強会で不安を解消。

Point 3 伴走支援



第三者目線 企業との橋渡し

経済産業局が伴走で、第三者目線の提供や企業との話し合いをサポート。

(参考) ガイドラインの概要

- 過去のガバメントピッチの取組や、勉強会から得られたノウハウ、知見を集結し、官民連携の取組方の一例を示したガイドライン及び参考様式を作成しました。



取組の全体像を見通す



取組に係る時間を短縮する

Contents

【東北編】

1. 共創型官民連携とは（総論）
 - 1.1 共創型官民連携とは
 - 1.2 共創型官民連携の進め方
 - 1.3 共創型官民連携の成功のポイント
2. 共創型官民連携の実践に向けて
 - 2.1 進め方
 - 2.2 課題整理
 - 2.3 資料作成
 - 2.4 課題発信
 - 2.5 提案募集
 - 2.6 連携決定
 - 2.7 実証協議
3. 共創型官民連携の取組事例
 - 3.1 自治体×企業の取組
 - 3.2 自治体×企業×支援機関の取組
 - 3.3 支援機関等主導の取組



課題整理をサポート

- ガイドライン、参考様式を活用して課題整理をスムーズに進めていただけます
- 課題整理ワークショップにご参加いただくことで、より効果的、効率的に課題整理に取り組みます
- 困ったとき、迷ったときは各経済産業局等が伴走でサポートします。

1 ガイドライン

ガイドラインをご覧ください、参考様式に埋めていくことで課題を整理いただけます。

ありたい姿を描く

ポイント

現場をよく知る担当者が日頃の業務の中で感じることを大事にして記載ください。
「できる、できない」は一旦横において、担当者として「こうなったらよい」と思い描く理想を記載してみましょう。

①ありたい姿：〇年後

- 担当者の考える理想の状態を記載ください。
- 現状の延長線で考えるのではなく、ゼロベースで検討し、記載ください。
- 何年後までに実現したいかも記載ください。
- 実態の遷移を具体化するために必要になります。

【深めるための問い】

- 誰が？
- どうなっているべきか？
- それはなぜか？

2 課題整理ワークショップ

講義と全国の自治体職員と交流しながら課題の深掘りをしあうワークショップで課題の整理を効率的に。

2024 Aug 27 官民連携に向けた課題深掘り実践ワークショップ

民間経済産業局では、地域課題の解決と産業振興の両立を自覚し、自治体と企業が単なる受発注の関係にとどまらず、ともに課題を解決するパートナーとして連携する「共創型の官民連携」を促進してきました。この際、連携の第一歩となる地域課題の深掘りに関するワークショップを開催します。

日時：2024年8月27日（火）14:00-17:00

形式：オンライン (Teams)

対象：官民連携、課題深掘りに関心のある自治体職員、民間企業、インテリジェントで新しい発想の方法を提案できる方

講師：2004年滋賀県庁舎内入庁、行政改革、着任日本大学環境・防災、地方創生総合戦略、子ども子育て交流、道の駅、数値など数多くの行政計画や行政の重要課題に携わる。2022年に現職で民間企業へ転職。研究所に入社し現職。

株式会社官民連携事業研究所 取締役官民連携アクセラレータ 加藤 穂兵

お申込み：QRコードをクリックするか、お手持ちのスマートフォンで読み取ってください。

開催主体：主催：関東経済産業局、道庁：北海道経済産業局、東北経済産業局、中部経済産業局、定数経済産業局、中国経済産業局、四国経済産業局、九州経済産業局、沖縄総合事務局

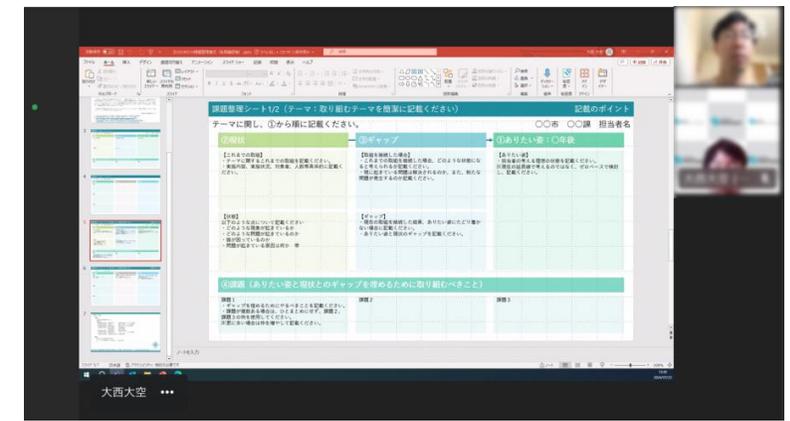
事業のお問い合わせ先：民間経済部 企画課 産業室 島津、大野、小崎
TEL: 048-600-0342 E-Mail: bud-kanto-healthcare@meti.go.jp



気になる方は
こちらから

3 伴走支援

担当の経済産業局職員が課題整理の壁打ち等でサポートします。



資料作成をサポート

- ・ ガイドライン、参考様式を活用して資料作成をスムーズに進めていただけます
- ・ 困ったとき、迷ったときは各経済産業局等が伴走でサポートします。

1 ガイドライン

ガイドラインをご覧ください、参考様式を埋めていくことで発表資料の作成を省力化いただけます。

構成例・課題整理シートとの関連

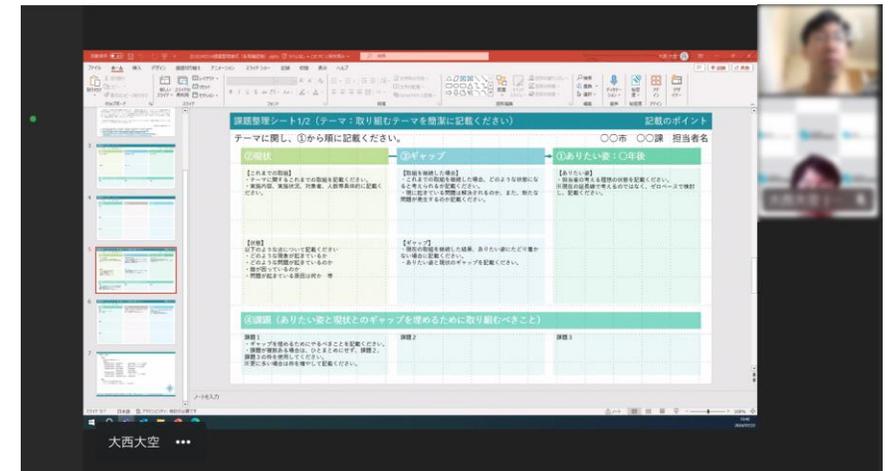
01	02	03	04	05	06	07	08
自治体紹介 ・自治体の地理、面積データ、各道県、各自治体に対するイメージが特徴を掲載。	現状 ・現在の自治体の現状データ、他自治体との比較等から紹介。 ・併せて課題点を掲載。	過去の取組 ・これまでに実施してきたテーマに関する取組を紹介。 ・併せて、取組から抽出した課題点も併せて記載。	課題 ・自治体が目指すべき姿を明記し、現状とのギャップから課題を特定。	取組の方向性 ・企業との連携すべき姿を明記し、取組の方向性を記載。	取組の具体例 ・自治体として想定する取組の具体例を列挙。	提供 ・自治体として企業に提供できるものを、ここを示す。 ・提供のメリットや効果等を記載。	まとめ ・スライド全体を振り返り、要点を記載。

①ありたい姿
②現状
③ギャップ
④課題
⑤不足
⑥強み

日本一元気な街への挑戦
運動がつくる明るい未来
令和〇年〇月
経済市 高齢者支援課

2 伴走支援

担当の経済産業局職員が面談により資料作成をサポート。お悩みごとの相談対応、第三者目線を提供。



企業との連携をサポート

- 勉強会を開催し、自治体、企業の認識のギャップを解消します。
- 経産局等が面談に同席し、対話がスムーズに進むようサポートします。

1 勉強会の開催

講義とグループディスカッションで官民連携や企業に対する理解を深める勉強会を開催予定。

企業との面談前に「知る」機会を提供します。

(参考) R5テーマ

勉強会の概要

- 官民連携に関し、「取り組み方がわからない」、「連携相手との考え方にギャップがある」などの解消に向けて、講義+グループディスカッションを行う勉強会を開催。



2 企業との橋渡し

面談審査や実証協議に際し、経産局等職員が面談に同席し、企業との対話がスムーズに進むようサポートします。



CONTENTS

- 1 ガバメントピッチとは
- 2 R6ガバメントピッチの特徴
- 3 スケジュール**
- 4 お申込み

CONTENTS

- 1 ガバメントピッチとは
- 2 R6ガバメントピッチの特徴
- 3 スケジュール
- 4 お申込み

お申込み

- 各経済産業局等のHPから応募様式をダウンロードし、担当経済産業局等にメール送信。

The image features a map of Japan divided into eight regions, each with a red location pin and a corresponding label. Lines connect these labels to their respective regions on the map. Surrounding the map are eight QR codes, each linked to a specific regional bureau. The regions and their corresponding bureau names are: Hokkaido (北海道), Tohoku (東北), Kanto (関東), Chubu (中部), Kansai (近畿), Chugoku (中国), Kyushu (九州), and Okinawa (沖縄).

北海道経済産業局

東北経済産業局

関東経済産業局

中部経済産業局

近畿経済産業局

中国経済産業局

九州経済産業局

沖縄総合事務局

※QRコードをクリックするか、お手持ちのスマートフォンで読み取ってください。

まずは、担当経済産業局等にご相談ください！

北海道経済産業局 健康・サービス産業課

TEL：011-709-2311（内線2554）

E-mail：bzl-hokkaido-healthcare@meti.go.jp

関東経済産業局 ヘルスケア産業室

TEL：048-600-0342

E-mail：bzl-kanto-healthcare@meti.go.jp

近畿経済産業局 バイオ・医療機器技術振興課

TEL：06-6966-6163

E-mail：bzl-kin-bionews@meti.go.jp

九州経済産業局 ヘルスケア・バイオ産業課

TEL：092-482-5438

E-mail：bzl-healthcare-kyushu@meti.go.jp

東北経済産業局 商業・流通サービス産業課

TEL：022-221-4914

E-mail：bzl-healthcare-Tohoku@meti.go.jp

中部経済産業局 航空宇宙・次世代産業課

TEL：052-951-4091

E-mail：bzl-healthcare-chubu@meti.go.jp

中国経済産業局 企画調査課・製造産業課

TEL：（企）082-224-5626/（製）082-224-5630

E-mail：bzl-ml-healthcare-cgk@meti.go.jp

沖縄総合事務局 企画振興課

TEL：098-866-1727

E-mail：bzl-oki-chikishinko@meti.go.jp

官民連携で課題を解決していきましょう！



関東経済産業局 ヘルスケア産業室 奥澤、大西、小嶋



048-600-0342



bzl-kanto-healthcare@meti.go.jp

少しでも気になる方は、お気軽にご連絡ください！